

# 藤代元県議が出馬表明

## 鎌ヶ谷市長選 「寄り添う社会に」



藤代政夫氏

鎌ヶ谷市の前市長の辞職に伴う出直し選挙（7月11日告示、同18日投開票）に

向け、新人で元県議の藤代政夫氏（73）が18日、無所属で立候補すると表明した。同市長選への出馬表明は3人目。

記者会見した藤代氏は「今、新型コロナでいろいろな課題が出てきている。鎌ヶ谷市がきちんとしない」と市民が安心して暮らせる

社会にならない」と出馬理由を説明。16年間の市議、県議の経験を生かして「一人一人に寄り添う分かち合いの社会を実現する」と述べた。

政策では▽24時間対応できる新型コロナ相談体制の整備▽学校給食の無償化▽予算編成過程へ市民参画▽

北千葉道路開通に伴う道路整備▽パートナースhip条例の制定―などを提示した。

藤代氏は2003年から同市議を2期務め、11年から県議2期務めた。

21年6月19日  
千葉日報

21年6月19日 読売朝刊

### 鎌ヶ谷市長選に 藤代氏出馬表明

7月11日告示、18日投開票の鎌ヶ谷市長選で、前県議の藤代政夫氏（73）が18日、記者会見し、無所属で立候補することを表明した。市長選への出馬表明は3人目。

立民、共産両党の市議団などから支持を得たとしている。藤代氏は「市民が主役の政治を取り戻したい」と出馬理由を語った。

21年6月19日 東京新聞

### 藤代元県議 立候補表明

鎌ヶ谷市長選

鎌ヶ谷市長選（七月十一日告示、同十八日投開票）で、元県議の藤代政夫さん（七三）が十八日、無所属で立候補すると表明した。同市長選での表明は三人目。

記者会見した藤代さんは「新型コロナワクチンの接種を進め、PCR検査を増やすなど対策にしっかりと取り組む。市民一人一人に寄り添う市政にする」と力説。公約として予算編成時に市民に参画してもらおうことや、市民との対話の場であるタウンミーティングを開くことなどを挙げた。

藤代さんは二〇〇三年から市議二期、一一年から県議二期を務め、三期目を目指した一九年の県議選で落選している。（保母哲）

の無料化、女性幹部職員の登用など公約に掲げる。

同市議補選（被選挙数1）も20日、投開票される。いずれも新顔の11人が争っている。（平井茂雄）

## 藤代前県議が立候補を表明

鎌ヶ谷市長選

清水聖土前市長の辞職に

伴う鎌ヶ谷市長選に、前県議の藤代政夫氏（73）が18日、無所属で立候補することを表明した。

藤代氏は船橋市出身で、鎌ヶ谷市議も務めた。新型コロナウイルスのワクチン接種を最優先課題とした上で、福祉政策の充実、少人数学級の実現、学校給食の無償化、自然エネルギーの導入などを訴えている。市

長選に立候補を表明したのは3人目。

## 白子町議補選

### 票数再点検へ

1票差で落選、異議

白子町選挙管理委員会

新型コロナウイルス感

新しい生活様